

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【公表番号】特表2013-500739(P2013-500739A)

【公表日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-002

【出願番号】特願2012-523432(P2012-523432)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	5/26	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	15/08	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	5/26	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	15/08	
G 0 1 N	33/53	D

G 0 1 N 33/574
C 1 2 P 21/08

A

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月23日(2013.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項1】**

配列番号1、配列番号2、配列番号3又は配列番号4のいずれか1つによって表されるアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチド、及び任意のその断片、誘導体又は類似体。

【請求項2】

配列番号1によって表されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項3】

配列番号2によって表されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項4】

配列番号3によって表されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項5】

配列番号4によって表されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の単離されたポリペプチド。

【請求項6】

ケモカイン様分泌タンパク質である、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項7】

請求項1に記載の単離されたポリペプチド、及び任意のその断片、誘導体又は類似体を含む単離されたタンパク質。

【請求項8】

請求項2に記載のポリペプチド、並びに任意のその断片、誘導体及び類似体をコードする配列を含む単離された核酸分子。

【請求項9】

遺伝子コードの縮重によるコドン配列が、請求項8に記載の核酸分子と異なるだけである、単離された核酸分子。

【請求項10】

配列番号5によって表される配列を含む、請求項8に記載の単離された核酸分子。

【請求項11】

請求項3に記載のポリペプチドをコードする配列を含む単離された核酸分子、並びに任意のその断片、誘導体及び類似体。

【請求項12】

遺伝子コードの縮重によるコドン配列が、請求項11に記載の核酸分子と異なるだけである、単離された核酸分子。

【請求項13】

配列番号6によって表される配列を含む、請求項11に記載の単離された核酸分子。

【請求項14】

請求項4に記載のポリペプチドをコードする配列を含む単離された核酸分子、並びに任意のその断片、誘導体及び類似体。

【請求項 15】

遺伝子コードの縮重によるコドン配列が、請求項14に記載の核酸分子と異なるだけである、単離された核酸分子。

【請求項 16】

配列番号7によって表される配列を含む、請求項14に記載の単離された核酸分子。

【請求項 17】

請求項5に記載のポリペプチドをコードする配列を含む単離された核酸分子、並びに任意のその断片、誘導体及び類似体。

【請求項 18】

遺伝子コードの縮重によるコドン配列が、請求項17に記載の核酸分子と異なるだけである、単離された核酸分子。

【請求項 19】

配列番号8によって表される配列を含む、請求項17に記載の単離された核酸分子。

【請求項 20】

請求項8から19までのいずれか一項に記載の単離された核酸分子を含むベクター。

【請求項 21】

前記核酸分子がプロモーターに作動可能に連結される、請求項20に記載のベクター。

【請求項 22】

発現ベクターである、請求項21に記載のベクター。

【請求項 23】

請求項20から22までのいずれか一項に記載のベクターを含む細胞。

【請求項 24】

植物細胞、昆虫細胞、真菌細胞、細菌細胞又は哺乳動物細胞からなる群から選択される宿主細胞である、請求項23に記載の細胞。

【請求項 25】

請求項1及び7のいずれか一項に記載の単離されたポリペプチド又はタンパク質を含む組成物。

【請求項 26】

グルコース代謝関連の障害の治療のための、請求項2又は5のいずれか一項に記載の単離されたポリペプチド、又はそれを含むタンパク質、又はそれをコードする核酸を含む組成物。

【請求項 27】

請求項2又は5のいずれか一項に記載の単離されたポリペプチド、又はそれを含むタンパク質、又はそれをコードする核酸を含む組成物であって、グルコース代謝を増強すること、インスリン受容体の発現を誘導すること、原形質膜へのG1ut-4輸送体の転位置を誘導すること、グルコース流入を誘導すること、グリコーゲン合成を誘導すること、並びに解糖及び脂肪酸合成を誘導することのうちの少なくとも1つのためである上記組成物。

【請求項 28】

糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満、内分泌性疾患及び筋肉障害からなる群から選択される障害の治療のための、請求項2又は5のいずれか一項に記載の単離されたポリペプチド、又はそれを含むタンパク質、又はそれをコードする核酸を含む組成物。

【請求項 29】

テストステロン生成を増強するための、請求項3に記載の単離されたポリペプチド、又はそれを含むタンパク質、又はそれをコードする核酸を含む組成物。

【請求項 30】

テストステロン欠乏又はテストステロン欠乏関連の障害の治療のための、請求項3に記載の単離されたポリペプチド、又はそれを含むタンパク質、又はそれをコードする核酸を含む組成物。

【請求項 31】

癌の治療のための、請求項 4 に記載の単離されたポリペプチド、又はそれを含むタンパク質、又はそれをコードする核酸を含む組成物。

【請求項 3 2】

p 5 3 発現を誘導するための、請求項 4 に記載の単離されたポリペプチド、又はそれを含むタンパク質、又はそれをコードする核酸を含む組成物。

【請求項 3 3】

薬学的に許容される担体、賦形剤又は希釈剤をさらに含む、請求項 2 5 から 3 0 までのいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 3 4】

疾患又は障害の治療のための医薬の調製における請求項 1 及び 7 のいずれか一項に記載のポリペプチド又はタンパク質、又はそれをコードする核酸の使用であって、前記疾患又は障害は、免疫学的コンポーネント又は病因を有する疾患、感染症、急性及び慢性炎症性疾患、癌、移植及び自己免疫疾患、生殖能力関連の疾患、並びに炭水化物代謝障害、糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満、内分泌性疾患及び筋肉障害からなる群から選択される上記使用。

【請求項 3 5】

グルコース代謝関連障害の治療のための医薬の調製における請求項 2 又は 5 のいずれか一項に記載のポリペプチド又はタンパク質、又はそれを含むタンパク質又はそれをコードする核酸の使用。

【請求項 3 6】

糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満、内分泌性疾患及び筋肉障害からなる群から選択される障害の治療のための医薬の調製における、請求項 2 又は 5 のいずれか一項に記載のポリペプチド又はタンパク質、又はそれを含むタンパク質又はそれをコードする核酸の使用。

【請求項 3 7】

テストステロン欠乏又はテストステロン欠乏関連障害の治療のための医薬の調製における請求項 3 に記載のポリペプチド又はタンパク質、又はそれを含むタンパク質又はそれをコードする核酸の使用。

【請求項 3 8】

癌の治療のための医薬の調製における請求項 4 に記載のポリペプチド又はタンパク質、又はそれを含むタンパク質又はそれをコードする核酸の使用。

【請求項 3 9】

それを必要とする対象での疾患又は障害の治療のための医薬組成物であって、治療的有効量の請求項 1 又は 7 のいずれか一項に記載のポリペプチド又はタンパク質を含み、前記疾患又は障害は、免疫学的コンポーネント又は病因を有する疾患、感染症、急性及び慢性炎症性疾患、癌、移植及び自己免疫疾患、生殖能力関連の疾患、並びに炭水化物代謝障害からなる群から選択される上記医薬組成物。

【請求項 4 0】

グルコース代謝関連障害の治療のための医薬組成物であって、治療的有効量の請求項 2 又は 5 に記載のポリペプチドを含む上記医薬組成物。

【請求項 4 1】

糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満、内分泌性疾患及び筋肉障害からなる群から選択される障害の治療のための医薬組成物であって、治療的有効量の請求項 2 又は 5 に記載のポリペプチドを含む上記医薬組成物。

【請求項 4 2】

グルコース代謝を増強するための医薬組成物であって、治療的有効量の請求項 2 又は 5 に記載のポリペプチドを含む上記医薬組成物。

【請求項 4 3】

インスリン受容体の発現を誘導するための医薬組成物であって、治療的有効量の請求項 2 に記載のポリペプチドを含む上記医薬組成物。

【請求項 4 4】

インスリン受容体の発現を誘導するための医薬組成物であって、有効量の、P R T 5、生物学的に活性なその断片若しくは誘導体を含む上記医薬組成物。

【請求項 4 5】

テストステロン欠乏関連の障害の治療のための医薬組成物であって、治療的有効量の請求項 3 に記載のポリペプチドを含む上記医薬組成物。

【請求項 4 6】

テストステロン生成を増強するための医薬組成物であって、治療的有効量の請求項 3 に記載のポリペプチドを含む上記医薬組成物。

【請求項 4 7】

癌を治療するための医薬組成物であって、治療的有効量の請求項 4 に記載のポリペプチドを含む上記医薬組成物。

【請求項 4 8】

p 5 3 発現を誘導する医薬組成物であって、有効量の、P R T 7 又は生物学的に活性なその断片若しくは誘導体を含む上記医薬組成物。

【請求項 4 9】

請求項 1 又は 7 のいずれか一項に記載の単離されたポリペプチド又はタンパク質、又は任意のその断片若しくは誘導体を特異的に認識する抗体。

【請求項 5 0】

P R T 5 ポリペプチド又は任意のその断片若しくは誘導体を特異的に認識する抗体。

【請求項 5 1】

前記 P R T 5 ポリペプチドが配列番号 1 によって表される、請求項 5 0 に記載の抗体。

【請求項 5 2】

P R T 6 ポリペプチド又は任意のその断片若しくは誘導体を特異的に認識する抗体。

【請求項 5 3】

前記 P R T 6 ポリペプチドが配列番号 2 によって表される、請求項 5 2 に記載の抗体。

【請求項 5 4】

P R T 7 ポリペプチド又は任意のその断片若しくは誘導体を特異的に認識する抗体。

【請求項 5 5】

前記 P R T 7 ポリペプチドが配列番号 3 によって表される、請求項 5 4 に記載の抗体。

【請求項 5 6】

P R T 8 ポリペプチド又は任意のその断片若しくは誘導体を特異的に認識する抗体。

【請求項 5 7】

前記 P R T 8 ポリペプチドが配列番号 4 によって表される、請求項 5 6 に記載の抗体。

【請求項 5 8】

有効成分として請求項 4 9 から 5 7 までのいずれか一項に記載の抗体を含む組成物。

【請求項 5 9】

薬学的に許容される担体、賦形剤又は希釈剤をさらに含む、請求項 5 8 に記載の組成物。

【請求項 6 0】

診断又は治療の方法で用いるための、請求項 5 8 又は 5 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6 1】

前記抗体が P R T 7 、又はその断片若しくは誘導体を特異的に認識する、請求項 5 8 から 6 3 までのいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6 2】

癌の診断で使用するための、請求項 6 1 に記載の組成物。

【請求項 6 3】

請求項 4 9 から 5 7 までのいずれか一項に記載の抗体を生成する、抗体産生細胞系。

【請求項 6 4】

請求項 6 3 に記載の細胞系によって生成される抗体。

【請求項 6 5】

疾患又は障害の診断のための診断組成物の調製における、請求項 4 9 に記載の抗体の使用であって、前記疾患又は障害は、免疫学的コンポーネント又は病因を有する疾患、感染症、急性及び慢性炎症性疾患、癌、移植及び自己免疫疾患、生殖能力関連の疾患、並びに炭水化物代謝障害からなる群から選択される上記使用。

【請求項 6 6】

癌の診断のための診断組成物の調製における、請求項 5 4 から 5 5 までのいずれか一項に記載の抗体の使用。

【請求項 6 7】

前記癌が肺癌又はすい臓癌のいずれか 1 つである、請求項 6 6 に記載の使用。

【請求項 6 8】

疾患又は障害の治療のための治療組成物の調製における、請求項 4 9 に記載の抗体の使用であって、前記疾患又は障害は、免疫学的コンポーネント又は病因を有する疾患、感染症、急性及び慢性炎症性疾患、癌、移植及び自己免疫疾患、生殖能力関連の疾患、並びに炭水化物代謝障害からなる群から選択される上記使用。

【請求項 6 9】

それを必要とする対象での疾患又は障害の治療のための医薬組成物であって、治療有効薬量の請求項 4 9 に記載の抗体を含み、前記疾患又は障害は、免疫学的コンポーネント又は病因を有する疾患、感染症、急性及び慢性炎症性疾患、癌、移植及び自己免疫疾患、生殖能力関連の疾患、並びに炭水化物代謝障害からなる群から選択される上記医薬組成物。

【請求項 7 0】

対象の疾患又は障害の診断のためのインビトロ方法であって、前記疾患又は障害は、免疫学的コンポーネント又は病因を有する疾患、感染症、急性及び慢性炎症性疾患、癌、移植及び自己免疫疾患、生殖能力関連の疾患、並びに炭水化物代謝障害からなる群から選択され、

a . 前記対象から単離された試料を請求項 4 9 に記載の抗体、又はそれを含む組成物と接触させるステップと、

b . 前記抗体とその特異抗原との間の複合体の形成を、検出手段を通して検出するステップとを含み、

それによって複合体の検出は前記対象が前記疾患又は障害を起こしていることを示唆する上記方法。

【請求項 7 1】

対象の癌の診断のためのインビトロ方法であって、

a . 前記対象から単離された試料を請求項 5 4 から 5 5 までのいずれか一項に記載の抗体、又はそれを含む組成物と接触させるステップと、

b . 前記抗体とその特異抗原との間の複合体の形成を、検出手段を通して検出するステップとを含み、

それによって複合体の検出は前記対象が癌を起こしていることを示唆する上記方法。

【請求項 7 2】

試料での癌の診断のための方法であって、対象からの試料中の P R T 7 ポリペプチド又はそれを含むタンパク質の存在を検出することを含み、それによって、対照より高い P R T 7 レベルを提示する試料は癌の存在を示す上記方法。

【請求項 7 3】

前記癌が肺癌又はすい臓癌である、請求項 7 0 又は 7 1 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7 4】

疾患又は障害の診断及び / 又は治療効果のモニタリング及び / 又は予後診断の評価のための診断キットであって、前記疾患又は障害は、免疫学的コンポーネント又は病因を有する疾患、感染症、急性及び慢性炎症性疾患、癌、移植及び自己免疫疾患、生殖能力関連の疾患、並びに炭水化物代謝障害からなる群から選択され、次のコンポーネント：

- a . 請求項 4 9 に記載の抗体、又はそれを含む組成物、及び
- b . 試料中の抗原の存在の検出を実施するための説明書を含み、前記抗原は前記抗体によって特異的に認識される上記キット。

【請求項 7 5】

次のコンポーネント：

- a . 試験する試料を収集するための少なくとも 1 つの手段、
- b . 前記抗体による前記抗原の前記認識の検出のために必要な少なくとも 1 つの試薬、及び
- c . 少なくとも 1 つの対照試料

の少なくとも 1 つをさらに含む、請求項 7 4 に記載のキット。